

小浜西組8区対象の住民説明会はじまる

平成20年6月に重伝建に選定されてから市の説明会が全く行なわれていないという住民の声を受けての開催となりました。当協議会も現在の活動報告と協力をお願いをさせていただこうと市と共催で行なうこととなりました。

貴船区を皮切りに鹿島、男山3区の住民説明会が行なわれました。



市役所からは“都会へ出ていた息子が帰ってくるのでリフォームをしようか。”という設定から話を進めてもらいました。西組で建物に色を塗ったりちょこっと直したりするだけでも市役所が出す「現状変更許可」が必ず必要であるということを知り、驚きました。こんな些細なことでも許可が必要なんですね。

さてまず1つめに、昭和30年以前の建物で、さらに現状のまま保存することに同意して印鑑を押した建物は、『「伝統的建造物」として「国指定の文化財」になること』、そして『その建物の修理には古いままを守らなければならないけど、その分たくさんの補助金がいただけるということ』、『その補助金に関する事業を「修理事業」ということ』が説明されました。

2つめに、印鑑を押していない昭和30年以前の建物や、昭和31年以降の建物、新築の建物については、「修景基準」にあわせた雰囲気のある建物をつくれればこちらもたくさんの補助金がいただけるということ、それを「修景基準」ということなどが説明されました。なるほど、新築の建物でも補助金をもらえるのだなということが理解できました。

3つめに、補助金はいらぬから好きなように建てたいという人にも、西組の重伝建エリアのなかでは守っていただかなくてはならない最低のルールというものがあつて、それを「許可基準」ということ、この許可基準のおかげで過激な色の建物や環境にそぐわない建物は今後建つことがないということがわかりました。

つまり、重伝建は、「修理基準」「修景基準」「許可基準」の順に基準が決められていて、松竹梅の基準から成り立っていることがよくわかりました。

また、これとは全く別に、小浜市単独の「景観形成助成金」という補助金もあるそう

です。こちらは、建物の古さとかには関係なく、市役所の基準に当てはまれば、結構自由に利用できる敷居の低い補助金のようなのです。金額は低いけど、ちょっと直したい時なんかには便利だなという印象を受けました。

今回の説明会で私が一番驚いたのは、固定資産税が減額されているということです。説明の中では、実際の納付書を参考に、62,000円ほどの固定資産税の負担があったお宅が、重伝建の指定以降は8,000円くらい減税されていることが説明されました。噂は聞いていましたが、このように実際に納付書を見ると、よくわかりました。

私も家へ帰って、早速確認してみようと思いました。

以上、いろいろなことがよくわかる説明会でした。まだ開催されていない区の皆さん、ぜひ開催当日は足をお運びください。

各区から出た質問および意見等

貴船区 平成23年7月24日（日） 午後7時45分から 貴船会館にて 25名出席

* 2階建てで18尺まで良いなら貴船会館の庇の高さを上げられるのではないかと。本陣に使用するとすれば、軒高が低いと提灯を付けても恰好が悪い。軒高をあげることを認めて欲しい。

* 貴船会館は公共の建物であるため軒を上げることを認めて欲しい。「残そう」という意思があって伝建物に同意したのだから特例を認めて欲しい。

⇒伝建物として同意している場合は、原則、建物の高さを変更することはできない。18尺までの高さというのは同意をしていない修理基準で実地する建物である。軒高の変更について相談する。



* 景観形成の補助金をせめて工事費の2分の1にしてほしい。

⇒補助率の変更については要綱そのものを変更しなくてはいけない。

* 東屋が建設され交番も撤去されるため防犯カメラを設置することができないか？

⇒関係課に伝え、検討してもらう。

鹿島区 平成23年8月6日（土） 午後7時30分から 若狭ふれあいセンターにて 18名出席

* 電線地中化、融雪装置等何一つ進んでいない。

⇒国、県の補助金で工事を行ないたい。歴史まちづくり法にのって市内でワーキングチームをつくって、計画中であります。

* 計画の目測ちが良かったのではないかと？

* 現状変更する場合どの範囲まで申請が必要か。以前とは範囲が変わってきている。その時、市から説明がなかった。人が変わると規則まで変わる。文章で残して欲しい。

* 市役所の4階へ行ってから文化課の案内看板がなくよくわからない。

⇒看板を上げてわかりやすくします。



男山区 平成23年8月7日（日） 午後7時30分から 八幡神社社務所にて 18名出席

8月7日の夜、第三回目となる「地区住民説明会」が、男山区の八幡神社社務所にて行われました。

いまだに区内には修理、修景の実績がない男山区ですので、区民としても少々縁遠い感はありましたが、それでも市役所の方の説明には、熱心に耳を傾けていました。

第一回目の貴船区と同じく、総会のあとの説明会でしたので、世帯数の少ない男山区としては多めの参加者にお集まりいただき、有意義な説明会となりました。



— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

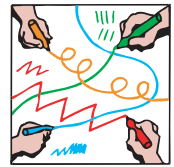
最後に各区とも小浜西組協議会から活動報告と協力をお願いをして終了しました。

- ①一門一灯運動の行灯設置協力
- ②空き家対策の推進。情報の協力
- ③アンケート記入と提出の御礼
- ④外国人アーティストの訪問があり協力を依頼。



海賊に扮した講師の先生が登場！

スマイルマップ作りに 参加して



8月9日（火）の午後1時～4時、ふれあいセンターにおいて「スマイルマップ」作りがありました。イベントには小浜小学校の5・6年生17名が参加してくれました。これは今年度事業「ベンガラ格子のともしび」の取り組みの第一段です。

小浜西組を子どもたちが自分の目で確かめ、地図におこし、町の「宝」を再確認するというねらいのもと開催されたこの行事には、京都市を拠点に活動する美術団体「ロケット探偵団」の丸山桂さんらを講師にお招きしました。そのほか、外国人アーティストのラッセル氏、大学の客員教授をされている俵越仙たわらえつさんさんと大学生など、色々な人が交わっての行事となりました。

連日の猛暑の中ではありましたが、子どもたちは地図に載せる店などを歩いて確認しました。石碑等の文字を写しとるフロッタージュという方法を教わり、見過ごしてしまいがちな標識や碑なども確認しました。それらを描き込んだ地図は、見ても飽きない楽しいものになりました。



この活動を通して、子どもたちにはこの町の良さを認識し、「フロッタージュ」という技法を勉強中 地元のことを好きになってくれたらいいなと思いました。

今回の作品は9月3日に翼のテラスで開催される芸術イベント「スマイルパイレーツ」で展示され、優秀な作品には賞が贈られます。子どもたちが描いた地図を是非見に来て下さい。

～子どもたちの感想～

■小浜にすんでいるのにどこに何があるか分からなくて地図が描けませんでした。でも3つのグループに分かれて歩いたら、

小さなことでも大きなことでも自分の地図に描けたので、少し小浜の町を分かった感じがしました。

(5年 加門 己乃)

■はじめ、ふれあいセンターに着くと、かいぞくの格好をした人がいました。まちのことを知っているも地図を描くとまちがえてしまいました。歩いていたら知らないところにいる文字が刻まれていました。それを紙にうつすのがうまくいかなかったです。(5年 佐野 友信)

■最初は地図が描けなかったけど、外に出て見ていくと分かっていたいきました。ふだんはあまり行かない所のことを描いたりもして、いろいろ分かったこともあってよかったです。(5年 竹下 愛美)

■どこになにがあるかが初めはあまり分かりませんでした。でも、ここにさんぱつ屋があるとか、ここにかき氷があるということがよく分かりました。もっと調べたいと思いました。(5年 辻 真果)



出来上がった地図をバックに記念写真

■今日、初めてスマイルマップ作りに参加して、わたしは小浜に長いこと住んでいるけど知らなかったことや、知らなかった店がありました。調べた所は、あまりわたしが通らないのでいろいろ知れてよかったです。またスマイルマップ作りがあったらすずんで参加したいと思いました。(5年 新田 優奈)

小浜西組町並み協議会 第2回役員会報告

日 時：平成23年8月5日(金) 19:30

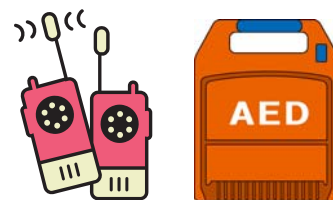
場 所：日吉 若狭ふれあいセンター

去る8月5日、若狭ふれあいセンターで協議会の役員会が行われました。

当日は太平洋高気圧が勢力を盛り返し、今夏一番の暑さになりました。町並み保存資料館にはエアコンがありませんでしたので、ふれあいセンターへ避難しての開催となりました。

最初に市役所より「景観形成助成事業」という市の単独の補助金について、ご希望の方は、平成24年度予算でお願いしますとのことでした。

以前より申請してありました宝くじの助成金につき、町並み協議会が当選しました。AED、トランシーバーなど、200万円相当の品を購入できます。購入した品は資料館に置かせていただきますので、よろしくお願いいたします。



その後、協議事項に移りました。

まず、佐野活性化部会長より8月に行われる「アーティストインレジデンス」に関する「スマイルマップ作成」を8月9日に行うこと、10月8日に「食のイベント」が、つばき回廊跡地で開かれ、その際、エコイベントに絡んで西組で一門一灯を行う旨、説明がありました。

そして、7月末日を締切としたアンケートの件、各区で行う説明会の件などが話し合わせ、アンケートについては事務局で報告書を作成すること、説明会は貴船、鹿島、男山以外の五区については、10月以降になるのではないかとの見通しが示されました。

秋になると放生祭などで西組は一気に忙しくなります。そのほかのイベントとも相まって、ひときわにぎやかな秋になりそうです。